

平成30年度学校地域連携コーディネーター第1回情報交換会（全体会）を開催しました。

平成30年5月21日（月）に、学校地域連携コーディネーターを対象に、「平成30年度学校地域連携コーディネーター第1回情報交換会（全体会）」を開催しました。情報交換会では、スクールサポートネットワーク（SSN）に関する講話をはじめ、各学校におけるSSNの実践事例発表や協議を行い、成果や課題等の共有を図っています。

今回は、市立与野八幡小学校の山崎 啓子コーディネーターと、市立植水中学校の穴倉 和雄コーディネーターの2名が、SSNによる地域との連携を中心に、所属校での活動内容を発表しました。

山崎コーディネーターからは、与野八幡小学校における保護者や地域の方々による学習支援、見守り活動、各種体験活動等の取組の紹介がありました。「子どもたちが体験し、触れ合い、感じることにより、地域への興味・関心がわき、“ふるさと”を認識する助けとなる。」とし、「地域を活性化させるためには、子どもたちと共に地域を創っていくことが大切。子どもたちは地域の将来を担う大切な人材。そのことがボランティアに周知されると、ボランティア精神より一步上の達成感と喜びが生まれることでしょう。」とのお話がありました。「学校地域連携コーディネーターは、地域と子どもの絆をはぐくむことができる。これから多くの方と協力して輪を広げていきたい。」と思いを伝えました。



【山崎学校地域連携コーディネーター】

続いて、穴倉コーディネーターからは、植水中学校におけるチャレンジスクールの様子や、地域の人材を講師とした体験活動、西区避難所運営訓練への参加などの地域学校協働活動について紹介がありました。チャレンジスクールでは、近隣の高等学校との連携による「書初め練習会」や、外国人留学生を招いたり、学習アドバイザーによる「ミニ講演会」等、多様な取組を行っているそうです。



【穴倉学校地域連携コーディネーター】

「地域の実態に即した柔軟なボランティアの確保が不可欠であると考えます。今後、学校の基本方針や具体的な取組等について、より積極的に保護者・地域や諸団体へ発信して周知を図り、人材を確保していきたい。」とのお話がありました。

協議では、各学校の学校地域連携コーディネーターが、本年度から新たに区ごとの編成となる10ブロックに分かれ、ブロックの代表である総合統括リーダーの選出を行いました。今後、総合統括リーダーを中心に、各学校間でSSNの取組状況や成果・課題等の情報を共有したり、各学校間で連携した地域学校協働活動を行ったりといった、より広域的なネットワーク化が期待されます。



【ブロックでの協議の様子】

スクールサポートネットワーク（SSN）は、地域全体で未来を担う子どもたちをはぐくむため、学校と幅広い地域住民等を結ぶネットワークです。学校地域連携コーディネーターは、SSNの中心的な役割を担う、要となる学校職員で、全ての市立小・中・特別支援学校に1名ずつ配置されています。

本年度も、引き続き各学校でのSSNの取組を御紹介していきます。

今回は、大宮区の市立大宮東小学校の取組を御紹介します。

大宮東小学校では、「安心して通える、通うことが楽しい学校」づくりに取り組んでいます。



【「PTA地区懇談会」の意見交換の様子】

＜地域ぐるみで安全点検する「PTA地区懇談会」の取組＞

毎年12月に行われる「PTA地区懇談会」は、自治会役員や防犯ボランティア、保護者、児童、教職員が通学路の安全点検を行いながら大宮東小学校の体育館に集まって行われます。

そこでは、地区ごとのグループに分かれ、最初に通学路の安全について意見交換し、その後、登下校時の児童の様子や安全マップを基にした地域の心配な場所について話し合います。地域の隅々までよく知る方々による情報交換を通して得られる「地域の心配な場所や児童の安全にかかわる事柄」は、学校やPTAにとって最新情報を得る大切な機会となっています。

＜「東小児童交流会」と「文化演芸会」への参加＞

大宮東地区社会福祉協議会主催「東小児童交流会」において、毎年、6月に6年生、12月に3年生がクラスの出し物や高齢者と交流する活動を行っています。また、10月には3年生が「花笠音頭」の踊りを「文化演芸会」で披露しています。

「東小児童交流会」や「文化演芸会」に参加した高齢者の方から「孫や曾孫のような児童の出し物や児童との交流が毎年楽しみで、いつも元気をもらっています。」という声が寄せられ、児童にとっても、地域の高齢者の方と触れ合う貴重な体験となり、大変意義のある教育活動の一つとなっています。



【「文化演芸会」で披露した3年生の花笠音頭】



【犬のバルーンアート体験】

＜地域のボランティアによるチャレンジスクールの活動＞

大宮東小チャレンジスクールは、24名の地域のボランティアで運営されています。83名が参加する土曜チャレンジスクールは、学習1「宿題や各自の課題の学習に取り組む」、学習2「国語2枚と算数2枚の計4枚のチャレンジプリントに挑戦する」、その後には、様々な「特別な活動」や「ものづくりの活動」が行われます。

今年度は、「昔語りを聞く会」、「バルーンアート体験」、音楽ワークショップ「今日から君もミュージシャン」、「地域ふれあい大会に参加しよう」、「強カブンゴマをつくって遊ぼう」などの多彩で楽しい活動が行われています。

大宮東小学校の取組からは、地域の方々にあたたかく見守られながら様々な体験をすることで、子どもたちがのびのびと成長している様子が伝わってきます。

今回は、中央区の市立下落合小学校の取組を御紹介します。

下落合小学校では、地域の方々の御協力のもと、様々な活動に取り組んでいます。



【自治会ごとの話し合い】

〈ふれあいの会—防犯・安全見守り関係者の集い〉

11月・2月の年2回、自治会長、民生児童委員、防犯ボランティア、子どもひなん所110番の家、PTA代表、学校職員が一堂に会して、ふれあいの会を開いています。

はじめに、学校から児童の安全についての情報提供を行います。続いて、自治会ごとに集まったの情報交換を行います。こちらでは、児童の登下校の様子、地域での児童の様子等が話し合われます。最後に、各自治会から、児童のあいさつ、交通安全上の問題、不審者情報等、話し合われた内容が発表されます。児童に伝えるべき内容については、担任を通して知らせるようになっています。

〈放課後チャレンジスクール 囲碁教室〉

1年生から6年生まで50人が、週1回放課後チャレンジスクール囲碁教室に参加しています。学区内にある囲碁サロンの先生及びそこに通っている地域の方6名がスタッフとして来てくれます。また、囲碁教室で学んだ中学生も、後輩のため指導してくれています。下落合小学校には囲碁に興味をもっている児童が多く、本年度の小学校囲碁団体戦では、埼玉県1位、全国大会2位の成績を収めました。囲碁サロンに通っている児童も多く、地域の方々と囲碁を通して触れ合うことができます。家庭では、おじいちゃんとの対局もあるそうです。



【囲碁教室】

〈土曜チャレンジスクール 絵手紙教室〉

絵手紙教室は、年4回土曜日に開催し、2年生以上の60～70人の児童が参加しています。母の日、敬老の日に合わせて開催しているので、心温まる作品が、多くの母親、祖父母に届けられています。5月の与野公園「ばらまつり」前夜祭のキャンドルアートナイトにも出品しています。キャンドルのまわりを囲んだ絵手紙の作品が浮かびあがる、とても幻想的なものです。また、12月にさいたま芸術劇場で行われるキャンドルアートナイトにも出品しています。絵手紙の作品が光る、野外のコンサートもまた格別です。これらの行事に親子で参加する家庭もあり、地域と触れ合うよい機会となっています。



【絵手紙教室】

下落合小学校の取組からは、チャレンジスクール等の活動をきっかけに、児童が学校の外でも地域との触れ合いを深めている様子がうかがえます。

今回は、緑区の市立三室中学校の取組を御紹介します。

三室中学校では、「生徒の活動から、さらなる地域と学校の連携づくり」に取り組んでいます。



【とても大きな大根がとれました：3年畑係】

〈三室中学校・学校ファーム〉

学校から約1キロ離れた見沼田んぼに広大な学校ファームがあります。ここで地域の方と各クラスの畑係を中心に、じゃが芋、里芋、大根等の作物を年間通して栽培しています。また、夏休みには部活動ごとに除草や水やりも行っています。

収穫した作物は、給食の食材として全校生徒や地域の方が食します。また、地域の「三室ふれあい祭り」に出店して作物を販売し、収益金を自然災害の義援金として寄付しています。

これらの活動を通して、生命や自然、環境、食物等への理解を深める教育を実践するとともに、学校と地域の連携を深めています。

〈地元公民館との交流〉

三室中学校では、地域の公民館と積極的に双方向の交流を行っています。例えば、公民館の文化祭では吹奏楽部が演奏して好評を博したり、日本文化部・美術部の作品、国語科の硬筆展等の作品展示を行ったりしています。また、公民館には三室中学校生徒の作品展示スペースが確保されており、定期的に美術作品を中心に掲示させていただいています。

一方、三室中学校の廊下には、公民館で活動されている方々の作品（絵画・写真等）を掲示するコーナーを用意し、地元の方々の作品を展示して生徒の美的関心を高めています。



【普段とはまた違った緊張感の吹奏楽部】



【かるたで盛り上がりました】

〈みむろっ子祭りへのボランティア活動〉

毎年12月に芝原小学校の校庭において、青少年育成三室地区会が「みむろっ子祭り」を開催しています。ここでは、ベーゴマや羽根つき等の昔遊びや餅つき、演奏など地域が一体となって楽しく過ごすお祭りを行っています。

中学生ボランティアとして三室中学校の生徒も60名以上が参加し、小学生たちと一緒に楽しく過ごしています。生徒たちは、自分が小学生の時に参加したときの中学生に自分の姿を重ね、素敵なお兄さん、お姉さんとして熱心にボランティア活動を行っていました。

三室中学校の取組からは、生徒たちが積極的に学校の外に出て、地域の方々と触れ合うことで、地域との豊かな関係がはぐくまれていることが伝わってきます。